

まるびい シネマ・パラダイス! vol.5
 なるせ みきお
成瀬巳喜男 特集 ～日常はあなたを離さない～



イラスト: 吉川永祐 (金沢美術工芸大学)

**『成瀬巳喜男 記憶の現場』の石田朝也監督がゲスト・トークに登場!
 時代を超え、問い掛ける成瀬巳喜男の「日常」と成瀬その人に迫ります**

イベント名	まるびい シネマ・パラダイス! vol.5 「成瀬巳喜男 特集 ～日常はあなたを離さない～」
日時	2018年12月8日(土)～9日(日)
会場	金沢21世紀美術館 シアター21
料金	1回鑑賞券:一般 500円 / 大学生以下 300円 フリーパス:一般 1,500円 / 大学生以下 900円 ※大学生以下の方は入場時要学生証提示
チケット取扱い	[前売り券](11月8日より販売開始) 窓口販売:金沢21世紀美術館 ミュージアム・ショップ Tel 076-236-6072 Web予約(http://www.kanazawa21.jp/form/event/) ※フリーパスのみ(当日会場にて精算) [当日券]シアター21前にて両日10:30より販売(1回鑑賞券のみ)
主催	まるびい シネマ・パラダイス! 実行委員会、金沢21世紀美術館[(公財)金沢芸術創造財団] 文化庁、国立映画アーカイブ
特別協賛	木下グループ
協力	金沢美術工芸大学、有限会社シネモンド、株式会社オーエムシー、パン工房Babylon BOULANGERIE mashi mashi, one one otta 平成30年度優秀映画鑑賞推進事業
WEB	https://www.kanazawa21.jp/data_list.php?g=25&d=1848&gid=69
お問合せ	金沢21世紀美術館 交流課 TEL 076-220-2811

取材申込み/問合せ先

金沢21世紀美術館 広報担当: 石川聡子(広報室)、事業担当: 吉備久美子(交流課)
 〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
 TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802
<http://www.kanazawa21.jp> E-mail: press@kanazawa21.jp
 ※ご取材の際には、事前にご連絡をお願いします。



概要

「まるびい シネマ・パラダイス！」は、映画に魅せられたデジタル世代の学生たちとフィルム全盛期に映画に親しんだ世代が交流しながら、企画・運営しています。映画史に残る名作をフィルムで上映することを通してフィルムの良さを考え、併せて上映技術の継承にも取り組むことで、金沢におけるフィルム上映の環境を次代につなぐことや、映画で金沢を盛り上げることを目的としています。

5年目を迎えるこの映画祭では、女性映画の名手として評価の高い成瀬巳喜男監督の戦後代表作「めし」から遺作「乱れ雲」など、計4作品をフィルム上映いたします。今回上映する作品はそれぞれ、俳優たちの繊細な演技で「日常」を描き出しています。悲しいこともうれしいことも全てを包み込んで離さない。時代を超えて、成瀬監督の視線が私たちに「日常」とは何かを問い掛けます。

貴媒体にて、事前告知や当日取材のご協力を賜りますようお願いいたします。

上映スケジュール

12/8 (土)

11:00 『おかあさん』(98分)

13:00 『めし』(97分)

15:00 [関連プログラム] 上映会『成瀬巳喜男 記憶の現場』(94分)

16:45 [関連プログラム] ゲスト・トーク 石田朝也映画監督 (90分)

12/9 (日)

11:00 『流れる』(116分)

13:15 『乱れ雲』(108分)

※定員 80名 (各回入替え制・全席自由)

※各回 10分前開場

※関連プログラムは入場無料(ただし1回鑑賞券又はフリーパスの半券提示が必要)

関連プログラム

成瀬巳喜男その現場

成瀬巳喜男の生誕100年を記念して製作されたドキュメンタリー映画『成瀬巳喜男 記憶の現場』を上映します。

また、『成瀬巳喜男 記憶の現場』の石田朝也監督をゲストに迎え、お話を伺います。成瀬巳喜男に迫る貴重な機会となることでしょう。

飲食販売ブース

「映画館でピクニック気分!？」を味わえる
飲食販売ブース登場

●ピカソパン (12/8のみ)

その味はまさにキュビズム! 上映作品「おかあさん」に登場するヘンテコな形のパンを完全再現!!

5種類の味が一つのパンで楽しめます!

(製作協力: パン工房 Babylon)

●パンとセットで! コーヒー (12/8、9)

提供: one one otta

●なつかしのコッペパンなど (12/8、9)

提供: BOULANGERIE mashi mashi



上映作品

12/8 (土)

11:00 『おかあさん』

当時、全国の小学生から募集した作文をまとめた「おかあさん」をもとに、水木洋子が脚本化した本作。思春期の少女の微妙な感情が、成瀬監督の丁寧で緻密なカットの積み重ねにより描かれ、独自の世界を築き上げている。

1952年 / 新東宝 / 白黒 / スタンダード / モノラル / 98分

原作：〈森永母を讃える会〉選定「全国児童綴方集」より

脚本：水木洋子 / 監督：成瀬巳喜男

出演：田中絹代、香川京子、岡田英次ほか



2

13:00 『めし』

今や世界中の映画批評家から熱い視線を受けるに至った成瀬監督の代表作に数えられる作品。原作は林芙美子による未完の新聞連載小説。けん怠期を迎え始めた夫婦を、上原謙と原節子が見事に好演している。

1951年 / 東宝 / 白黒 / スタンダード / モノラル / 97分

原作：林芙美子 / 監修：川端康成

脚色：井手俊郎、田中澄江 / 監督：成瀬巳喜男

出演：上原謙、原節子、島崎雪子ほか



3

関連プログラム

15:00 上映会『成瀬巳喜男 記憶の現場』

小林桂樹や淡島千景など、生前の彼を知るスタッフや俳優たちにインタビューして分かった成瀬巳喜男その人とは。撮影台本やセットの図面など貴重な資料も多数公開し名匠の現場を描き出します。

2005年 / アルボス / 94分

監督：石田朝也

出演：淡島千景、草笛光子、小林桂樹、司葉子他



4

16:45 ゲスト・トーク：石田朝也（映画監督）

『成瀬巳喜男 記憶の現場』を監督した石田朝也さんが、成瀬監督のドキュメンタリー映画制作を通して浮かび上がってきた成瀬像と成瀬映画の魅力をたっぷり語ります。



5

石田朝也（いしだ ともや）

映画監督。1967年、静岡県生まれ。ESRA(パリ映像高等学校)卒業後、NHKのドキュメンタリー番組や海外作品、合作映画の製作に携わる。05年ドキュメンタリー映画『成瀬巳喜男 記憶の現場』で監督デビュー。2作目には14年福島原発事故をテーマとした『無知の知』を公開している。

上映作品

12/9 (日)

11:00 『流れる』

女優たちの名演が光る本作は、幸田文の同名小説を成瀬監督が映画化したものである。隅田川畔の花柳界・柳橋を舞台に、現実の変化とともに確実に失われつつある時代への郷愁を、艶やかなモノクロームの画面に見事に定着させている。



1956年／東宝／白黒／スタンダード／モノラル／116分
 原作：幸田文／脚色：田中澄江、井出俊郎
 監督：成瀬巳喜男／出演：田中絹代、山田五十鈴、

13:15 『乱れ雲』

普通ならば交わることのない男女二人の微妙に揺れ動く心理を、成瀬監督は淡々としたカットを積み重ねることでの確に描き出していく。司葉子の代表作であり、また、成瀬監督の遺作である。



1967年／東宝／カラー／シネマスコープ／モノラル／108分
 脚本：山田信夫／監督：成瀬巳喜男
 出演：加山雄三、司葉子、森光子ほか

チケット取扱い

●1回鑑賞券：一般 500円 / 大学生以下 300円

●フリーパス：一般 1,500円 / 大学生以下 900円

※大学生以下の方は入場時要学生証提示

[前売り券](11月8日より販売開始)

窓口販売：金沢21世紀美術館 ミュージアム・ショップ Tel 076-236-6072

Web予約 (<http://www.kanazawa21.jp/form/event/>)

※フリーパスのみ(当日会場にて精算)

[当日券]シアター21前にて両日10:30より販売(1回鑑賞券のみ)

広報用画像

画像1～7を広報用にご提供いたします。

ご希望の方は下記をお読みの上、広報室へお申し込みください。

画像お申し込みフォーム https://www.kanazawa21.jp/form/press_image/

[使用条件]

※広報用画像の掲載には各画像のキャプションとクレジットの明記が必要です。

※トリミングはご遠慮ください。作品が切れたりキャプション等の文字が画像にかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。

※情報確認のため、お手数ですが校正紙を広報室へお送りください。

※アーカイヴのため、後日、掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVD、CDなどをお送りください。

以上、ご理解・ご協力のほど、何とぞよろしくお願いいたします。